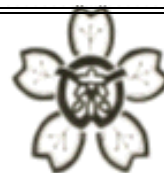


# 朝六小だより

朝霞市立朝霞第六小学校  
児童数 1070名  
令和6年4月8日号



## 自分で・自分から、誰かのため・何かのため

校長 田邊 雅也

### 児童数1,070名 学級数36 学級でスタート

お子様の御入学、御進級おめでとうございます。194名の新入生を迎え、全校の児童数1,070名、学級数36学級（通常学級33、特別支援学級3）で、朝霞第六小学校の新学期がスタートしました。新しい友達、新しい教職員との出会いを大切に、保護者、地域の皆様とともに、「心豊かに自ら学ぶたくましい人間の育成」を目指していきたいと思っております。今年度も校長を務めさせていただくことになりました 田邊 雅也です。4年目となります。六小の子供たちの成長に立ち会えることがうれしいです。

### 学校教育目標 等

【学校教育目標】心豊かに自ら学ぶたくましい人間の育成

思いやりのある子 自ら学ぶ子 元気な子

【めざす学校像】子供は、愛されることによって、さらに輝く

#### 自律と探究

児童：自分で・自分から、誰かのため・何かのため

大人：社会総がかりでウェルビーイング（※）のある教育を

【六小の合言葉】花あり 歌あり 笑顔あり そして 未来あり

### 試行錯誤の3年間

令和3年度は、国のGIGAスクール構想により、全国的に教育の転換点を迎え、朝霞市では、iPadが導入され、学びの試行錯誤が始まりました。令和4年度は、初めて「自律と探究」を合言葉にし、子供が、「自分で、自分から」学ぶという授業改善を試してきました。令和5年度は、オーセンティック(本物)でウェルビーイング（誰かのため、何かのため）のある学びとなるよう、身近で切実な課題に対し、子供が問いを立て、試行錯誤する教育活動を積み重ねました。保護者・地域の皆様にご協力をいただきながら、「自律と探究」の学びを試行錯誤した3年間でした。

### 学校と保護者・地域は「社会総がかりの教育」に

「自律と探究」というめざす学校像は、昨年度末に、学校運営協議会委員の皆様のご承認をいただきました。令和6年度も、教育活動の中核として、さらに深化させていきます。新しいキーワードとして「社会総がかりの教育」とし、学びが少しでも実生活につながり、子供たちの「将来にわたる生きて働く力」となるよう、保護者・地域と共に創造していきたいと考えています。今年度も試行錯誤の連続となりそうです。

### 子供は「自分で・自分から」「誰かのため・何かのため」に

将来は、予測困難なVUCA（※）の時代、少子化・人口減少・高齢化をはじめ、地球規模の課題が山積していくと言われております。めまぐるしく変化する社会の中で、一人一人が社会の担い手にならないといけません。2040年以降の社会を展望したとき、将来の予測困難な時代を生き抜き、切り開くのは、今の小・中学生の世代です。2040年以降、望む未来を自分で示し、創り上げていくことが求められる時代に入ります。

子供たちが、「自分で・自分から」、「誰かのため・何かのため（ウェルビーイング）」に考えて行動をすることで、「将来にわたる生きて働く力」を身につけられる教育活動を目指します。保護者・地域の皆様、令和6年度も、引き続き、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

※ウェルビーイング… 身体的・精神的・社会的に良好な状態。文科省は「獲得的ウェルビーイング（自分）」と「協調的ウェルビーイング（みんな）」の2つで整理し、学校、家庭、地域で高めていくよう求めています。本校は「誰かのため・何かのため」という言葉を使用。

※VUCA… 先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態。1990年代後半の軍事用語が語源。

V(Volatility変動性)、U(Uncertainty不確実性)、C(Complexity複雑性)、A(Ambiguity曖昧性)の頭文字からとった単語。